

(北野 PPT 第6章 該当問題)

試 I - 30 平成30年度

**問題10** 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

コミュニケーションにおいて音声理解は重要な役割を果たす。私たちは駅や教室など日常生活の中の様々な音声が聞こえる場で、相手の言葉に選択的に注意を向ける。その際、<sup>A</sup>聞こえてきた音声情報により既有の知識が呼び出され、ワーキングメモリで情報の処理と保持が進められる。<sup>B</sup>このような音声処理は、母語か第二言語かにかかわらず同じであるが、第二言語を聞く能力は学習者によって異なる。加えて、外国語副作用が生じることもある。<sup>C</sup>

近年、音声理解についての知見を踏まえたうえで、いくつかの指導法が提案されている。例えば、「モニター」などのストラテジーの指導が効果的であると言われている。<sup>D</sup>また、目標言語の音声処理のスキルを高める方法としてシャドーイングも注目されている。<sup>E</sup>

**問2** 文章中の下線部B「既有の知識」が収められているのはどこか。最も適当なものを、

次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 メタ記憶
- 2 直接記憶
- 3 短期記憶
- 4 長期記憶

問3 文章中の下線部C「外国語副作用」の説明として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 異文化環境下で生じた問題が原因で、第二言語の運用が困難になること
- 2 特徴の異なる複数の言語を学ぶ際、学習言語間で互いに干渉を受けること
- 3 第二言語を用いながら課題を行うとき、思考力が一時的に低下すること
- 4 第二言語使用への自信の無さから、言語的パフォーマンスの質が落ちること

令和3年度 試験I

問題10 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

言語の学習において、注意は重要な役割を持つ。第一言語において、子どもは共同注意<sup>A</sup>を通じて言語が発達すると考えられている。第二言語においても、シュミット (R.W. Schmidt) の気づき仮説<sup>B</sup>によって、注意の重要性が認識されるようになった。

最近では、認知心理学の観点から、維持リハーサル<sup>C</sup>など、記憶を留めるのに注意の制御が関わることが分かってきた。注意の制御には、ワーキングメモリ<sup>D</sup>が強く関わる。また、かつて言語教育ではチャンクが否定的に捉えられていたこともあったが、近年はその役割が見直され、チャンクの使用の効果<sup>E</sup>が確認されている。

問3 文章中の下線部C「維持リハーサル」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 対象の語を母語の意味と対応づける。
- 2 対象の語を何度も繰り返しつぶやく。
- 3 対象の語と共起する語を調べて使ってみる。
- 4 対象の語と類似の意味を持つ語を整理する。

問4 文章中の下線部D「ワーキングメモリ」に関する記述として不適當なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 語の記憶に集中すると、言語理解や産出の処理に問題が生じることがある。
- 2 談話の重要な部分を保持し、不要な情報を抑制する機能は高齢になると衰える。
- 3 第二言語では語の意味を思い出すのに時間がかかり、保持できる時間も短い。
- 4 第二言語の使用経験が浅い場合、思考や推論に多くの処理資源が割り当てられる。

令和1年度 試験I

問題10 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

第二言語学習者は、同じ表現であっても正しく発話できたりできなかつたりすることがある。こうした正用と誤用を繰り返しながら学習者の言語が変化していく現象は、に可変性があることを示している。第二言語の発達のためには、周囲からのインプットを得て長期記憶に貯蔵する必要がある。そのためには、維持リハーサルよりも精緻化リハーサルのほうが効果的である。さらに、言語学習には、ビリーフなども関わっているとされている。情意フィルター仮説で指摘されているように、学習者の情意面が言語の学習や習得に影響することも知っておくとよい。

問3 文章中の下線部B「精緻化リハーサル」の例として不適當なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 記憶しようとする語を何度も声に出して繰り返す。
- 2 記憶しようとする語を母語に対応する語と関連づける。
- 3 記憶しようとする語を使って文を作成する。
- 4 記憶しようとする語と類義語を結びつける。

**問題10** 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

文章を読むとき、私たちは文の言語情報を解析しつつ、同時に過去に得た知識や概念を活性化させ、整合性のある理解を築こうとする。次の例文を読んでみよう。

<例文>

そのボクシング選手は代表選考から外れ、悔しがった。

彼女は何年も厳しい練習に耐えてきたのだ。

この二文目の「彼女」を「彼」に置き換えると、同じ文でも読み時間は短くなる。「彼女」だと読み時間が長くなるのは、「ボクシング選手」に対する (ア) が活性化され、認知的な葛藤が起きたことによる。また、読み手は 推論 を行いながら文章を読む。このような読みの過程で、文と文との間の (イ) 関係が築かれる。その際、照応 の理解が重要な要素となる。

文章を正確に読むためには、メトニミー などの理解も必要である。さらに、理解補償方略、内容理解方略、理解深化方略 といった文章理解方略を使って読み進めていくことも効果的である。

**問2** 文章中の下線部A「推論」の一種である「精緻化推論」に関する記述として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 二つの文を原因と結果で関係づける。
- 2 未知語の意味の推測に関わる。
- 3 文章の大意を把握するのに不可欠である。
- 4 文章のこの後の展開を予測する。

**問題 9** 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

文章や談話を理解するために、脳内では複雑な処理が行われている。例えば、語彙処理や意味処理などが行われ、既<sup>A</sup>有の知識が統合される。その過程においては、予測や推<sup>B</sup>論が重要な役割を果たしている。また、これらの処理には認<sup>C</sup>知資源が関わっている。認知資源の量は、リーディングスパンテストやリス<sup>D</sup>ニングスパンテストなどで測ることができる。

音声理解の過程では、知覚の段階で音韻表象が形成される。一般的に、カクテルパ<sup>E</sup>ーティー効果がよく知られ、私たちは日常的に体験している。

**問 1** 文章中の下線部A「既<sup>A</sup>有の知識」のうち、「形式スキーマ」の説明として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 言語の背景にある社会文化的な知識
- 2 言語に対する感覚的で直観的な知識
- 3 身振りや絵で説明可能な物事についての知識
- 4 修辞や文章の構造についての知識

**問2** 文章中の下線部B「推論」の一種である「橋渡し推論」の例として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 「手の引っかき傷が痛む。猫は走って逃げていった。」という文から、猫に手を引っかかれたと推論する。
- 2 「その日の朝は駅まで歩いた。20分ほどで着いた。」という文から、天気の良い日だと推論する。
- 3 「バッターが打ち上げた。打球はこちらに飛んできた。」という文から、その後の展開を推論する。
- 4 「背後から女性に声をかけられた。知らない女性だった。」という文から、女性が何と言ったか推論する。

**問4** 文章中の下線部D「リスニングスパンテスト」の方法として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 句や文を聞いてから、聞き取った音声をそのまま書き取る。
- 2 短い文章を聞きながら単語をメモし、文章を復元する。
- 3 聞こえてくる文の内容を正誤判断しながら、文末の単語を覚える。
- 4 句や文を黙読しながら意味を理解し、記憶を頼りに声に出して言う。

**問題 5** ある地域の日本語教室に関する次の資料を読み、後の問い（問1～5）に答えよ。

<資料>は授業の概要である。

## 令和2年度 試験Ⅲ

<資料> 授業の概要

方針	文化庁の「 <u>『生活者としての外国人』に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案</u> 」(「カリキュラム案」)を参考に授業を行う。 A
レベル	初中級
授業時間	60分×2コマ
学習者	10～20名が参加（日本滞在歴、母語、年代、職業などは様々）
教材	「カリキュラム案」を参考に作成した <u>モジュール型教材</u> B
目標 C	地震が起きた際に適切な行動がとれるようになる。
授業の流れ	STEP 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震に関連する写真を見て、感じたことを話し合い、地震のイメージを共有する。</li> <li>・地震の時にとるべき行動についてグループで考える。</li> </ul>
	STEP 2 <ul style="list-style-type: none"> <li>STEP 1の状況に応じて以下のような活動を行う。</li> <li>・防災用品の使用法を説明書などで確認したうえで実物に触れる。</li> <li>・支援者が具体的な指示を与え、学習者はそれに従い防災用品を身につけたり、適切な行動をとったりする。</li> <li>・自分に必要な防災用品のリストを作る。</li> </ul>
	STEP 3 D <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模地震の発生後に流れたニュースを聞く。</li> </ul>
	STEP 4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で振り返りを行う。</li> </ul>

問4) <資料>の下線部D「STEP 3」の活動に関して、ここではスキミングを行うことにした。その活動として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 日本語力の不足を補い合ってニュース全体を理解するため、各自が聞きながら取ったメモを持ち寄り、再度聞いて他の学習者とニュースを再構築する活動
- 2 メディアによる災害の伝え方の違いを知るため、各自が別々のニュースを聞いて内容の大意を伝え合い、報道内容と目的を比較する活動
- 3 母国にSNSを使って母語で地震の状況を発信するため、日本のニュースの概要を聞き取る活動
- 4 避難する手段を判断するため、ニュースから道路情報や交通機関の運行情報などを聞き取る活動